

学校	飯田養護学校		
ホームページURL	高等部	生徒数	名
(1) テーマ 「AETとの交流」  テーマの分類( - ア ) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください  学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他(高等部全体・作業班・学級) 当学年 1～3年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい ・とたく生活体験や活動体験の乏しくなりがちな養護学校の生徒に、外国人や外国語に触れる機会をとることによって、生徒の体験の幅を広げる。			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) ・AETによる英語学習(歌、アルバム、ゲーム、身近な物の名前、数、アメリカの紹介、etc) …部全体 ・体育、作業学習、生徒会、給食などへの参加(生徒と一緒に活動) ・学級活動(朝の会、帰りの会、etc)への参加  時数(月1回で1回は半日単位後の半日は他の部へ)			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・校内に各部毎係を位置づけ、その係が中心となって計画・推進している。 ・県で派遣しているAETを活用している。			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・できるだけAETと連絡を取り合って、貴重な機会を充実させる。 ・楽しい雰囲気を作り出せるよう、係の職員もAETの英語指導に協力させる。 ・AETによる英語学習は30分位とって位置付け、後は部の日常活動を生徒と一緒に行う。			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・英語の力をつけさせるよりも、英語の響きや英語を学ぶ雰囲気、AETと一緒に活動することの楽しさを感じとることに重点を置いている。 ・積極的に英語を使おうとしているか、自分からAETに関わろうとしているのか、等々意欲や態度面を中心に生徒の様子を見ている。			
(8) 成果と課題 ・生徒たちは、英語の学習やAETと一緒に活動をととても楽しんでおり、自然にAETに関わっていく生徒が増えている。 ・英語を楽しんでいる雰囲気がでてきた。 ・AETと連絡や話し合いをする時間が十分確保できないのが残念。 ・公共の交通機関を利用すると学校の日課にあわせにくく、学校職員が送迎せざるを得ない。(負担をかける。)			

テーマの分類 横断的・総合的な課題( -ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境  
-エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や  
学校の特色に応じた課題